将来都市像『所沢発 みどりと笑顔 にあふれる自立都市』をめざして

総合計画は「まちづくりの設計図」

「第５次所沢市総合計画」がスタート！

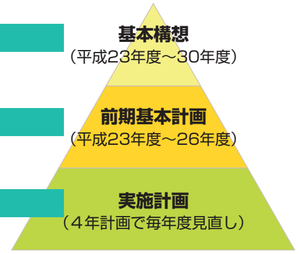
平成23年度からの本市のまちづくりの方向性とその実現に向けた施策を示した「第５次所沢市総合計画・基本構想（平成23年度～30年度）」と「前期基本計画（平成23年度～26年度）」を策定しました。

市では、この計画に基づき、基本構想に掲げた将来都市像の実現に向けて、総合的・計画的に取り組んでいきます。

問 政策企画課☎2998－9027 FAX2994－0706

総合計画の構成

本市の総合計画は、「基本構想」、「（前・後期）基本計画」、「実施計画」の３層構造になっています。



■まちづくりを進めるための施策の基本方針を示します。

■基本構想を実現するための施策体系や方針、主要事業を示します。

■基本計画で定めた施策や主要事業などの具体的な方策や実施期間を示します。

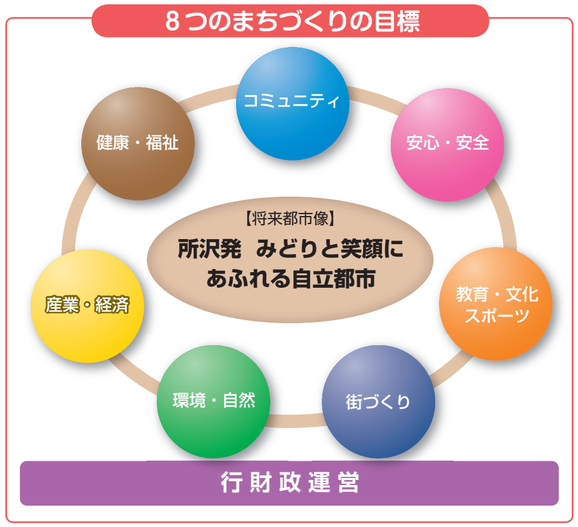
基本構想の構成

基本構想は、まちづくりの理念や将来都市像、これらを実現するためのまちづくりの目標を示しています。

内容は、▼総合計画策定の趣旨や計画の期間、構成等を示した**「はじめに」**、▼総合計画の実現にあたり大きな影響を及ぼすと思われる社会情勢を示した**「配慮すべき社会情勢」**、▼本市がめざすべきまちの姿を示した**「望ましいまちの姿」**、▼将来都市像を実現するための分野ごとの目標を示した**「まちづくりの目標」**の４つの項目で構成されています。

「まちづくりの目標」では、分野ごとに８つの目標を示しました。

８つのまちづくりの目標



計画の特徴

特徴1　計画期間を8年間に

第５次所沢市総合計画の計画期間は、平成23年（2011）度から30年（2018）度までの８年間としました（第４次所沢市総合計画は10年間）。これは、急激な社会情勢の変化に対応しやすくするとともに、４年の市長任期に沿ったものとするためです。

特徴2　総合的に取り組む4つの重点課題

将来都市像の実現に向けて、各分野に共通する課題や分野間相互の連携を図るテーマについて、前期基本計画に「総合的に取り組む重点課題」として位置付け、基本構想に掲げる「所沢発　みどりと笑顔にあふれる自立都市」の実現に向けて、課題ごとの推進体制により取り組みを進めることとしました。

特徴3　毎年度の目標値を設定

前期基本計画に掲げた43施策の進捗状況を測るため、第４次所沢市総合計画・後期基本計画に設定した指標と目標値について見直しを行うとともに、新たに毎年度の目標値を設定することで、達成度がより明確に把握できるようにしました。

前期基本計画の構成

前期基本計画では、各章にまたがって提起された課題を**「総合的に取り組む重点課題」**としてまとめ、将来都市像の実現に向けて取り組むこととしました。

また、基本構想の「８つのまちづくりの目標」を「章」として位置付け、その下に43の「節」を施策として置き、施策体系を構成しました。

この施策体系と計画期間中に重点的に取り組む事業を、各章の冒頭に掲げるとともに、節ごとに現況や課題、基本方針、目標指標を示しました。

【将来都市像】

『所沢発　みどりと笑顔にあふれる自立都市』

【前期基本計画】（平成23年度～26年度）

◆総合的に取り組む重点課題◆

1. 地域コミュニティの醸成
2. 「みんなで育む」子ども支援
3. 環境に配慮したまちづくり
4. 所沢ブランドの創造と地域経済の活性化

第1章 コミュニティ	第2章 安心・安全	第3章 健康・福祉	第4章 教育・文化 スポーツ	第5章 産業・経済	第6章 環境・自然	第7章 街づくり
参加とふれあいで成り立つコミュニティをめざします	市民・地域・市が協力し安心して暮らせるまちをめざします	思いやりの心で支え合う幸せに暮らせるまちをつくります	教育の充実、文化・スポーツの活性化で所沢の魅力を高めます	資源・特性を活かし産業の活性化やにぎわいの創出を進めます	豊かな自然と共生する持続的発展可能なまちをめざします	誰もが安全で快適に暮らせる自然と調和した街づくりを進めます

第８章 行財政運営　効率的・効果的な行財政運営により総合計画を進めます

◆まちづくりの目標◆

「第５次所沢市総合計画」の実現に向けて

所沢市長　**当麻よし子**

私たちのまち「所沢」は、平成22年11月３日に市制施行60周年を迎えました。そして、本年４月には日本で初めての飛行場が開設され、アンリ・ファルマン機が大空へ飛び立った「航空発祥の地」として100周年を迎えます。

こうした節目の年に、本市の市政運営の羅針盤となる「第５次所沢市総合計画」を策定しました。

この基本構想では、“所沢発　みどりと笑顔にあふれる自立都市”を将来都市像として掲げています。これは、市民・地域・市のそれぞれがパートナーとしてお互いを尊重し、協働して進めるまちづくりをイメージしたものであり、「選ばれるまち」、「みどりと笑顔にあふれるまち」、「市民・地域・市がともに自立を進めるまち」をめざすという想いが込められています。

特に、本市の魅力を全国に発信し、より多くの方々に「選ばれるまち」となることは、自治体間競争の時代にあって、本市の大きな課題であると捉えています。

計画の策定にあたりましては「市民との協働」を基本として、公募市民による検討委員会と「パートナーシップ協定」を締結し、市職員とともに素案の検討を行ってまいりました。また、より多くの皆様のご意見を伺うため、パブリックコメントを実施し地区説明会も開催してまいりました。さらに総合計画審議会の答申、市議会の議決をいただいて策定されたものです。

こうした多くの皆様の熱い思いが込められた「第５次所沢市総合計画」を着実に実行していくためにも、市民・市議会・行政が一つになって、本市が、安心して生き活きと暮らせる魅力と安らぎのあるまちとなり、34万市民の皆様をはじめ、市外の方々からも「このまちに住んでみたい」、「住んでよかった」と思っていただける「まち」とするために、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

基本構想と前期基本計画は、４月以降、市役所３階政策企画課、同１階市政情報センター、まちづくりセンター（本号４頁参照）、コミュニティセンター、図書館、生涯学習推進センターなどで閲覧できるほか、市ホームページで公開、冊子の有償頒布を予定しています。

▲日本大学芸術学部デザイン学科２年生・中川美沙さんの作品を採用

計画策定の視点

◆誰にもわかりやすい計画づくり

総合計画は、行政運営の目標を示すだけでなく、市民の皆さんとの共通目標とするため、「市民の目線」に立った計画づくりをめざしました。

◆市民参加・職員参加による計画づくり

平成21年１月からスタートした計画づくりは、公募市民による検討委員会と市職員で構成する「庁内策定部会」との協働により、約１年２か月かけて、基本構想および前期基本計画の素案作成に取り組みました。

また、平成21年５月には市民検討委員会と市が協働して取り組みを進めるための「パートナーシップ協定」を締結しました。

冊子の表紙は、日本大学芸術学部の学生がデザインするなど、多くの市民の皆さんの協力を得ています。

◆効率的で実現性の高い計画づくり

計画の策定にあたっては、これまで以上に行財政改革を進め、中長期的な財政予測との整合を図り、重要度の高い施策や事業などの適正な選択により、効率的・効果的で実現性の高い計画づくりに努めました。